マナーマ対話における特別講演
高市総理発言（ビデオメッセージ）
令和８年１１月１日

日本国内閣総理大臣の高市早苗です。

IISS 主催の「マナーマ対話」の開催にあたり、ハマド国王陛下、サルマン皇太子殿下の御尽力に深い敬意を表します。

今回の「マナーマ対話」は、中東が早期に安定を回復し更なる発展のための方策を議論する上で、非常に貴重な場です。

日本は、中東情勢の「早期沈静化・安定化」に向け、米国・イランを始め、湾岸諸国も含む、多くの関係国と意思疎通しながら、「粘り強い外交努力」を続けています。

日本は、湾岸諸国の「経済・エネルギー強靱化」に向けて、「包括的な協力計画」をまとめています。

この取組を通じ、世界的なエネルギーの安定供給のために、日本を含むアジア太平洋と湾岸諸国の連携を一層強化するべく尽力いたします。

ホルムズ海峡やバブ・エル・マンデブ海峡の早期安定回復は重要です。日本は、湾岸諸国の皆様を含め、国際社会と共に、両海峡における「自由で安全な航行の確保」に向け、全力で取り組んでいきます。

そして、中東の平和と安定を取り戻すため、また、「共に、強く豊かに」なるために、ＡＩを含む先端技術分野における

協力の推進を含め、皆様と緊密に連携したいと思います。

　有意義な議論が行われることを期待します。御静聴ありがとうございました。

（了）